

I 岡山県地域がん登録事業の概要

1 目的

岡山県地域がん登録は、岡山県内に居住する者に発生した全てのがんについて、発症から治療、死亡に至るまでの経過に関する情報を収集し、がんの罹患、受療状況、検診の受診状況、生存率に関する動向等の把握と解析評価を行い、もって本県におけるがん対策の評価と推進に資することを目的としている。

2 地域がん登録の仕組み

(1) 実施主体

岡山県が国立大学法人岡山大学岡山大学病院へ委託し、院内に「岡山県がん登録室」（以下「登録室」という。）を設置して実施している。

(2) 登録対象者

岡山県内に居住する者で、がんと診断された者及びがんにより死亡した者（疑診を除く）。

(3) 届出対象となるがん

「国際疾病分類腫瘍学第3版（一部改正2012）ICD-O-3」において悪性（性状コード3）又は上皮内がん（性状コード2）に分類された悪性新生物。ただし、頭蓋内腫瘍の場合は、良性腫瘍（性状コード0）と良悪不詳（性状コード1）も対象。

(4) 収集方法

県内に所在する医療機関の医師及び歯科医師は、岡山県内に居住するがん患者を診察した場合に、所定の届出票に必要事項を記載して登録室へ提出する。

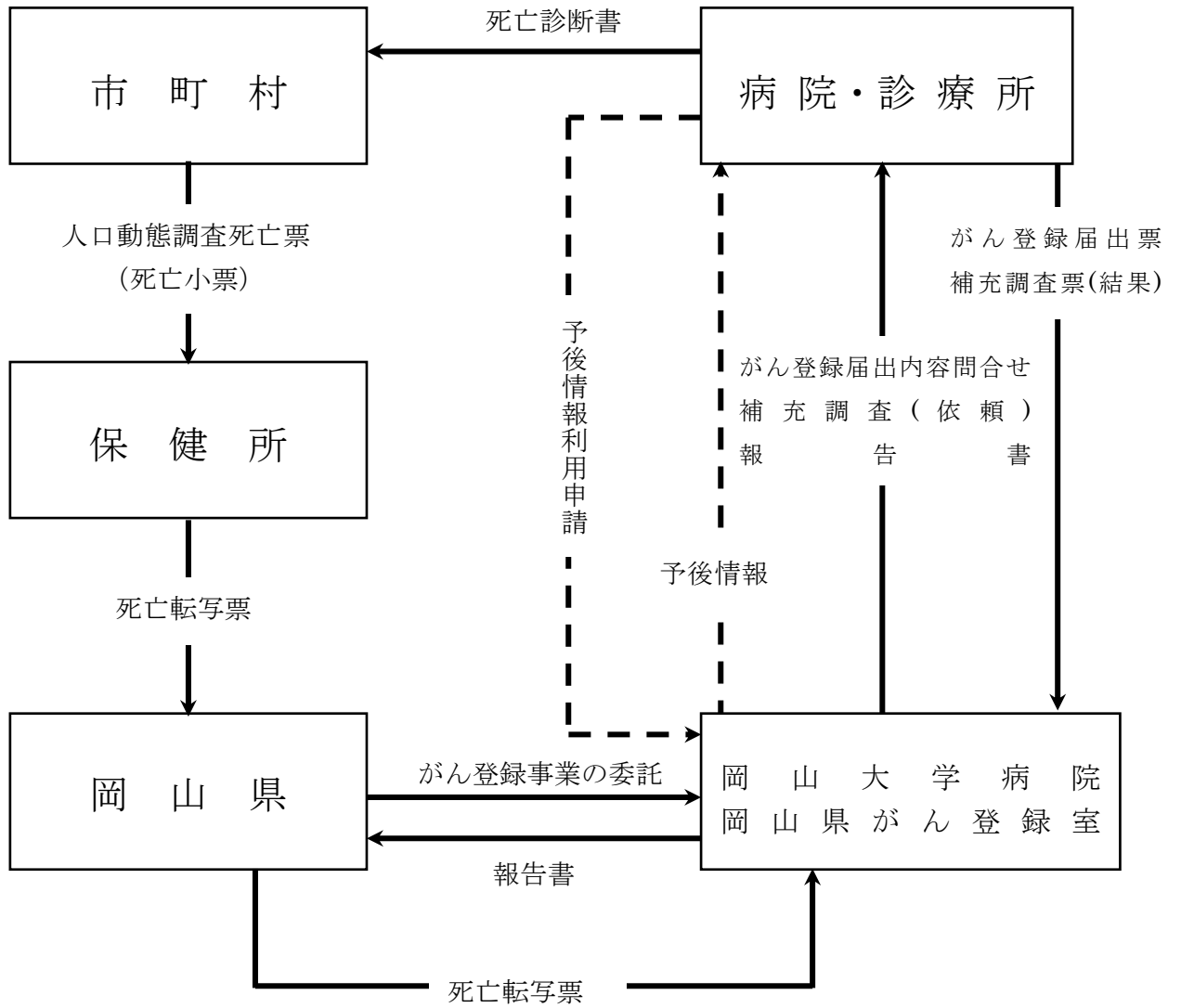
また、登録室において、人口動態調査死亡票（死亡小票）により初めて把握したがん患者については、死亡診断をした医療機関に対し、補充調査（届出を促す調査）を実施し、結果を登録する。

(5) データベース管理

岡山県においては、これまで県が独自に整備したデータベースシステムによりがん登録データの収集を行ってきたが、2016年に国立がん研究センターが「全国がん登録データベースシステム」の運用を開始したことに伴い、2015年以降のデータについては、同システム内の「都道府県がんデータベースシステム」により管理を行っている。

なお、県と国のシステムで集計の仕組みが異なっていることから、2014年までの「岡山県におけるがん登録」と本報告書では、集計数値に継続性がない。

図1 岡山県地域がん登録事業体系図



3 精度指標

2015年集計にかかる部位別のDCI及びDCOの割合並びにM/I比を示した。【図2・3】（精度指標について詳しくはP84, 85を参照すること。）

図2 部位別登録精度 DCI・DCOの割合（表8-Aから作成）

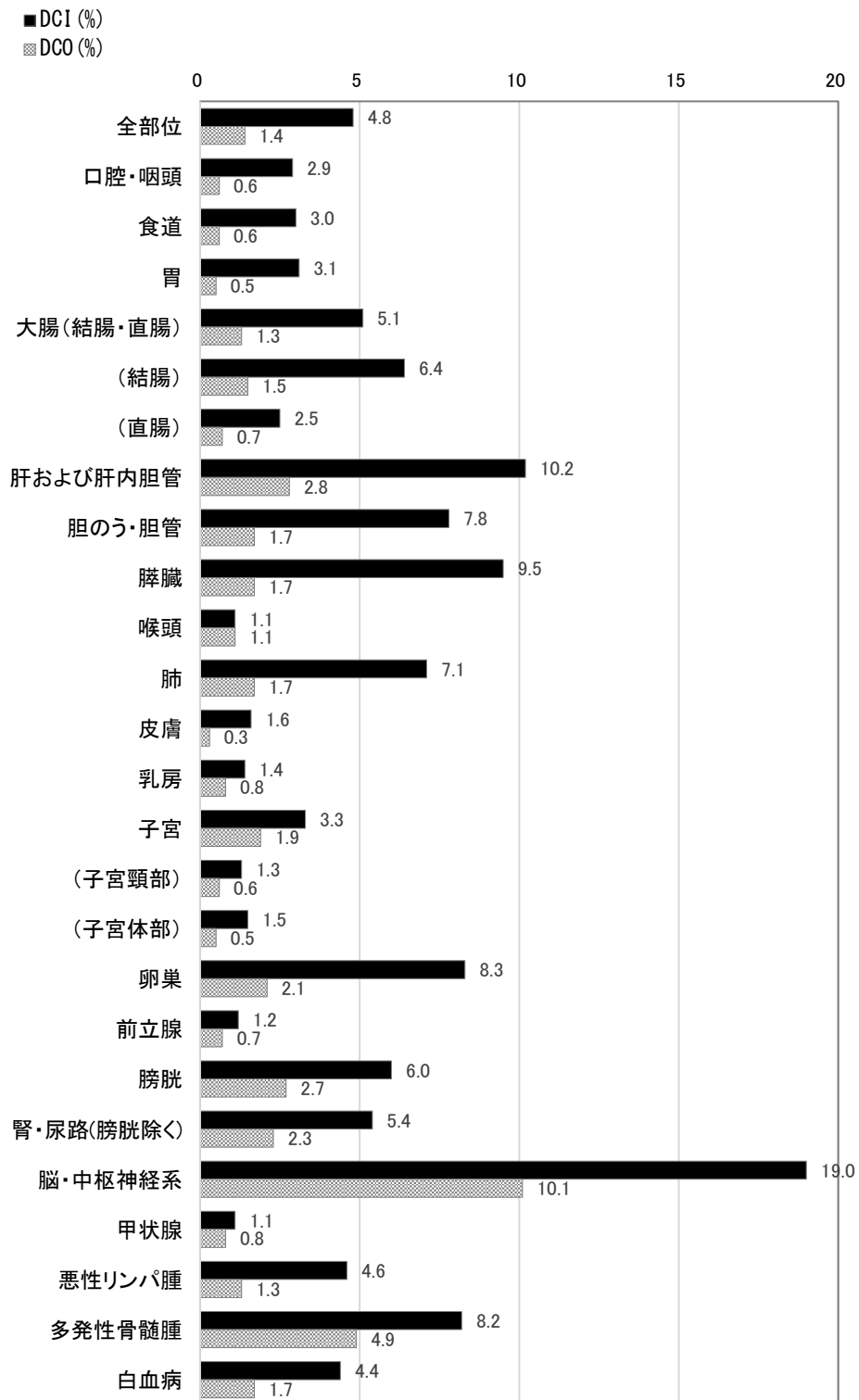
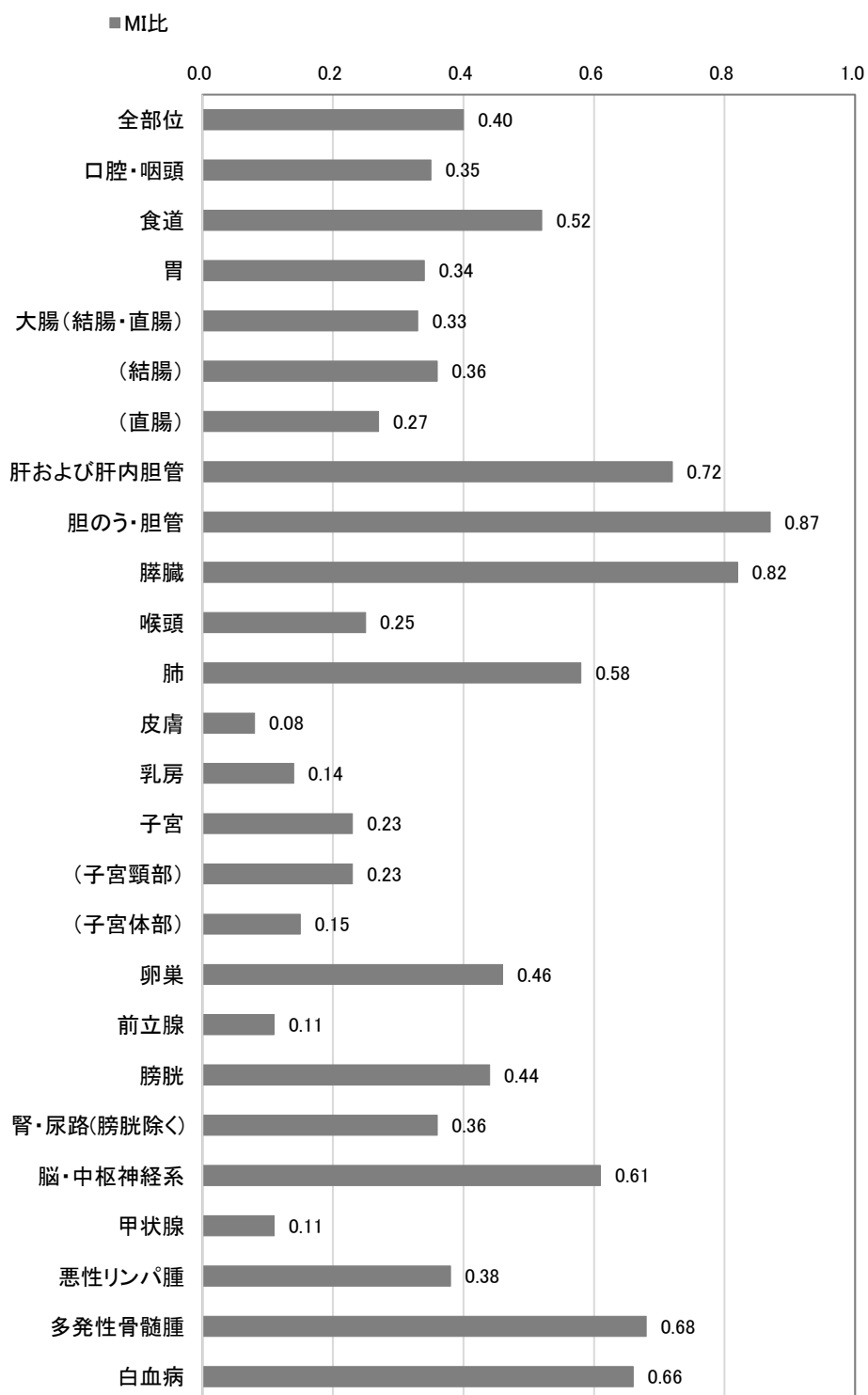


図3 部位別登録精度 M/I 比 (表8-A から作成)



1993年以降のDCN割合・DCO割合・M/I比の推移を示した。【表1】

近年、DCO割合は1%代、M/I比は適切とされる0.4を維持しており、全国的に見ても高い精度となっている。

表1 DCN割合、DCO割合、MI比の推移

	罹患者数	がん死亡数	DCN (%)	DCO (%)	M/I 比
1993	4,766	2,097	20.6	10.4	0.44
1994	4,826	2,208	21.7	14.5	0.46
1995	5,146	2,269	20.4	18.2	0.44
1996	8,974	4,489	19.4	9.0	0.50
1997	8,939	4,416	19.3	8.2	0.49
1998	8,944	4,683	16.9	8.8	0.52
1999	9,013	4,745	17.4	9.2	0.53
2000	9,211	4,778	18.3	7.6	0.52
2001	9,314	5,022	19.3	7.6	0.54
2002	9,970	5,222	17.8	7.8	0.52
2003	10,183	5,266	16.9	7.3	0.52
2004	9,812	5,354	19.3	7.9	0.55
2005	10,113	5,317	20.1	7.5	0.53
2006	9,843	5,344	20.3	8.7	0.54
2007	10,936	5,129	19.8	5.9	0.47
2008	11,751	5,668	17.6	5.7	0.48
2009	12,950	5,642	11.5	3.8	0.44
2010	13,414	5,537	8.4	2.7	0.41
2011	13,827	5,883	8.1	3.1	0.43
2012	14,588	6,075	8.1	3.5	0.42
2013	14,937	5,978	7.1	1.6	0.40
2014	15,346	6,244	6.7	1.8	0.41
2015	14,079	5,595	4.8	1.4	0.40

1993-1995年は胃、結腸、直腸、肺、乳房、子宮の6部位を対象とした。

1993-2014年は岡山県の独自システムによる集計。

2015年は国立がん研究センター「都道府県がんデータベースシステム」による集計。

2015年はDCNに代えてDCIを記載。